



国労せんだい

こくろうせんだい
FAX版

号 外
2011年3月22日
発責 橋本 昭二
編責 武田 昌仙

東北地方太平洋沖地震

音威子府闘争団が義援金 被災した組合員と家族に届けたい

稚内からもお見舞い

これまでの支援の気持ち

3月21日、音威子府闘争団から地方本部に対し、この度の被災に対してのお見舞いと支援カンパの申し出があった。

地本橋本委員長は、感謝の意を伝えると同時に、「解決金も未受領であり、苦しい思いをしている皆さんからのカンパを受け取る訳にはいかない」と固辞したが、「この度の被災を知り、臨時団会議を開催し、何が出来るかを全体で議論し決定した。今日まで支えて頂いた仙

台と盛岡地本に対するお礼とお返しであり是非に」という申し出に、快く闘争団員と家族の気持ちを受け取ることとした。

また、同日、稚内闘争団からも、お見舞いと、仙台地方本部からの具体的支援の要請を受けたとの申し出があった。

これに対し、橋本委員長は、「温かい支援の気持ちを率直に頂く」とし、「不足しているものがあれば、遠慮なくお願いする」と返答した。

新庄第一建設の災害通勤対応に啞然

3月17日、第一建設工業新庄工務所は、横手からの通勤者（エルダー社員）が通勤に必要なガソリンの確保が困難になったとの申し出に対して、以下連絡をしたという。

それによれば、自家用車のガソリン確保に努め、可能な限り出社する

エリア越え生死の確認

17日、東京地本八王子地区本部の組合員で、宮城県亘理町出身の方から、「実家の母の安否確認が出来ない」として、東日本本部を経由し、仙台地本に安否確認の要請があった。

津波被害の被災地へ

17日、会津若松地区分会の仲間から届けられた支援物資については前回報告したが、これには新潟地本からの温かい支援が含まれていたことを報告したい。

また救援物資の一部について、津波で甚大な被害を被った仙台市若林区の住民に対して届けることを地本として判断

物資が不足している若林区荒町小学校の避難所に届けた。若林区には仙台地本として「新潟地本からの救援物資」と報告し、大変感謝された。

とはどの様な判断から出てくるのか、一建幹部の真意を質すのは当然だが、JRのグループ会社、パー

トナー会社としての在り方が根底から問われているのではないかと。

現在、地震による鉄道被害の復旧に向け、系統を問わず、JRとパートナー会社が力を合わせて昼夜を分かたず懸命の努力を重ねられており、また今冬は、記